

## 時代区分 III (4) - 尖閣諸島の開拓に関する資料

## 尖閣諸島の開拓の様子が窺える写真

No.44 『古賀辰四郎へ<sup>らんじゅほうしょう</sup>藍綬褒章<sup>かし</sup>下賜の件』添付写真

報H29/P10 1900年(明治33年)、1908年(明治41年)

## 資料概要

尖閣諸島の開拓等に功績があった古賀辰四郎への藍綬褒章下賜について、1909年(明治42年)5月31日、沖縄県知事日比重明が農商務大臣大浦兼武に具申したところ、同年9月8日、農商務大臣大浦兼武は賞勲局総裁伯爵正親町実正(おおぎまちさねまさ)宛にその旨を具申した。

この写真は、農商務大臣発賞勲局総裁宛文書の別紙として添付されていた沖縄県知事発農商務大臣宛上申書の別添中、古賀辰四郎作成の事業経営書「16(附録)地図及び写真」に収録されている写真で、その中に尖閣諸島の開拓に関する写真(1900年(明治33年)、1908年(明治41年)撮影)等が収められている。

古賀辰四郎は、沖縄県における水産業の進展への貢献と尖閣諸島開拓の実績を日本政府に認められ、1909年(明治42年)11月22日、藍綬褒章を下賜された。

作成年月日	1900年(明治33年) 1908年(明治41年)
編著者	-
発行者	-
収録誌	明治四十二年 公文雑纂 内閣四 巻四
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	国立公文書館
利用方法	国立公文書館で利用手続きを行う



## 北小島

(1900年(明治33年))

「北小島鳥類群集」と題された写真は海鳥(セグロアジサシ)の群が一面を覆っている。古賀はこの鳥を帽子飾りの材料として半剥製に加工し、欧州向けに大量に輸出していた。

## 内容見本

南小島漁業場(三十三年)

南小島道路開鑿(三十三年)

北小島鳥類群集(三十三年)

黄尾島全景(三十三年)

和平山事務所(四十一年)

和平山事務所(四十一年)

所蔵: 国立公文書館

(年三十三) 場業漁島小南



(年三十三) 鑿開路道島小南



南小島

(1900年(明治33年))

左上及び左の写真のいずれも南小島北西側海岸付近の写真。「南小島漁業場」と題された写真には、手前に和船三艘、奥に沖縄の漁夫が使用する小舟(サバニ)三艘が確認できる。奥には石垣積みの塀と茅葺小屋が二軒建てられており、この当時にも、南小島にも開拓者が居住していたことが窺える。「南小島道路開鑿」と題された写真には、開拓者たちが岩石を運搬している場所を撮影したのか、沖縄でバーキと呼ばれる籠を抱えた人の様子のほか、茅葺小屋を囲うために石垣を積んでいる様子などが窺える。

所蔵: 国立公文書館

(年一十四) 所務事山平和



魚釣島(1908年(明治41年))

「和山事務所」と題された左の写真は、魚釣島の鯉節工場を写したものである。遠景から工場全体の様子をうかがっている。鯉節工場全体が石垣積みの塀で囲われ、塀の中には、大小の茅葺小屋が建ち並んでいることがわかる。下の写真は、小屋の前で写されたもので、和服姿の婦人、鉢巻きを締めた人々、シャツを着た洋装の男性、男児の姿も見える。当時の魚釣島には様々な人々が滞在し、開拓が順調だったものと考えられる。この写真の詳細は明らかではないが、一同が集合し、整列して撮影されていることから何らかの記念写真である可能性が高い。

(年一十四) 所務事山平和



所蔵:国立公文書館

**久場島(1900年(明治33年))**

「黄尾島全景」と題された船上から久場島を写した写真には、海岸を向いて建てられた数軒の茅葺小屋と大きな日の丸の旗が写っている。宮島幹之助の「黄尾島」(→No.37)の写真にも日の丸のような画像が写っているが、これらの写真は、おそらく同時期に撮影されたものと考えられる。



所蔵:国立公文書館